

令和7年度 事業報告書

【運営方針】

当法人は、札幌市における生涯学習の普及振興に資する事業を行うとともに市民の学習活動を総合的に支援し、もって生涯学習の推進に寄与することを目的とし、定款(第4条)に次の事業を行うことを定めている。

令和7年度も、この内容に沿った事業を展開した。

- (1) 生涯学習に関する学習機会提供事業
- (2) 生涯学習に関する活動支援事業
- (3) 生涯学習に関する指導者・支援者の養成・活用事業
- (4) 生涯学習に関する情報収集・提供事業
- (5) 生涯学習関連施設の管理運営事業
- (6) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

札幌市青少年科学館等管理運営事業

(目的) 札幌市からの指定を受け、科学及び科学技術に関する知識の普及啓発を通して創造性豊かな青少年の育成を図ることなどを目的として、札幌市青少年科学館及び札幌市天文台の管理運営を行う。また、指定管理業務以外にも公益目的に沿った事業を行う。

1 科学及び科学技術普及振興事業

(1) 科学に関する教室・講座

ア 科学教室

(ア) 日曜実験室

小中学生を対象に、水の表面張力や分光、偏光など、身近な科学現象をテーマにした実験教室を実施した。

【実績】

実施期間	内容	回数	受講者数
4月～6月	「水の秘密いくつ知ってる?～水のふしぎなちから～」	34回	455名
7月～10月	「光と虹の実験室～見える 見えるにじいろもよう～」	44回	501名
11月～2月	「びっくり音の大実験～サウンド・オブ・サイエンス!～」	40回	335名
3月	くるくる まわすと おもしろい!	12回	130名

(イ) 学習実験教室

団体予約で来館する小学4～6年生を対象に、教育課程に沿った内容で水や磁石を扱う実験教室を実施した。

【実績】

実施期間	内容	回数	受講者数
4月	「水」「磁石」「空気」「食塩」「LED」の実験	2回	65名
6月		11回	292名
7月		41回	1,169名
8月		7回	183名
9月		26回	733名
10月		40回	1,136名
11月		33回	898名
12月		14回	392名

(ウ) サイエンジャー科学教室

主に小中学生を対象に、科学を体験的に学ぶ機会を提供した。自主企画のほかに、専門機関や企業などと連携して、より専門的な内容の科学教室を行った。

【実績】

実施日	内容	参加者数
5/24(土)	「AM/FMラジオをつくろう!」/日本無線株式会社北海道支社	18組36名
6/21(土)	「メカトロ教室 走れ!ロボットカー」/日本機械学会	11名
8/30(土)	「大人のためのラジオ工作」/北海道テレコム懇談会	25名
9/20(土)	「おやこでふうせんあそび」(3回実施)	26組53名
10/25(土)	「オトナサイエンス 手羽先から学ぶ運動のしくみ」(2回実施)	10名
11/29(土)	「自分の手で、スマホを分解しよう!」/KDDI 株式会社	15組30名
1/17(土)	「光と影のふしぎラボ」/北海道小学校理科研究会(2回実施)	16名
3/14(土)	「オトナサイエンス むかし 懐かし ポンポン船」(2回実施)	20名

(エ) 科学館の工作室

主に小中学生を対象に、科学原理の理解を深めるとともに、ものづくりへの興味・関心を高めるために、工作教室を実施した。

【実績】

実施期間	内容	回数	参加者数
4月	七色サクラスコープ	15回	225名
5月	ゆらゆらチンアナゴ	21回	278名
6月	ぶらりんこアニマル	15回	170名
7月(7/25(金)まで)	アシカさんのポンポンビンゴゲーム	12回	146名
夏の特別展期間 (7/26(土)~8/24(日)) 8/31(日)	ふわふわクラゲの七変化	52回	723名
9月	うさぎさんのクルクルもち月	18回	124名
10月	おいつけおいこせ回転木馬	15回	110名
11月	飾ってクリスマスツリー	21回	186名
12月	さっぽろテレビ塔イルミネーション	9回	132名
冬の特別展期間 (1/5(月)~18(日)) 1/25(日)	ふわふわヒコーキと凧	21回	159名
2月	親子で作ろうコリントゲーム	18回	130名
3月	カチカチ振り子	18回	235名

(オ) 大人のための天文教室

9月上旬に起きた皆既月食をテーマにした天文教室のほかに、星の基礎知識などを学ぶ、初心者を対象とした基礎講座「大人のための天文教室(初級編)、中級者向けの「大人のための天文教室(中級編)」をそれぞれ実施した。

【実績】

実施日	内容	回数	参加者数
9/5(金)	大人のための天文教室 ～皆既月食を観察するための基礎講座～	1回	33名
10/10(金)、 17(金)	大人のための天文教室(初級編) ～星空観察の基本を学ぼう～	2回	32名
11/14(金)、 28(金)	大人のための天文教室(中級編) ～これからの天文現象や宇宙事業の今～	2回	34名
2/21(土)	親子で皆既月食を観察してみよう！	1回	34名

(カ) 親子天文教室

小学生とその保護者を対象に、天文分野に関連のある工作と天体観測を組み合わせた天文教室を実施した。

【実績】

実施日	内容	参加者数
8/1(金)	「手作りの望遠鏡で星空を見よう」	18組42名
8/2(土)		11組41名
8/3(日)		17組46名
1/16(金)	「星の光は何色？光を分解して見てみよう」	8組20名
1/17(土)		16組40名
1/18(日)		10組26名

(キ) 宇宙セミナー

宇宙・天文についての興味・関心を高めるため、第一線で活躍する専門家を招き、最新の天文情報に基づく講演会を実施した。第69回宇宙科学技術連合講演会(札幌)の開催に合わせ、同講演会に参加する企業等と連携し、子ども向けの VR 教室やミニ講演会も併せて実施した。

【実績】

実施日	内容	参加者数
11/23(日)	VR 体験教室「月で生きる未来-VR で月世界旅行へ！」 講師 日揮グローバル株式会社 プリンシパルエンジニア 横山 拓哉	56名
11/24 (月・祝)	月・火星の探査～宇宙や月の暮らしに向けて～ 講師 JAXA 国際宇宙探査センター 事業推進室 主任 鈴木 智美	50名
	月で暮らす未来～宇宙開発から月面社会へ～ 講師 合同会社ムーン・アンド・プラネッツ 代表社員 寺蘭 淳也	75名

(ク) 先端科学技術講座

名誉館長である宇宙飛行士の山崎直子氏の講演会を行い、山崎氏が子どものころに見た星空や、国際宇宙ステーションから見た地球の姿をプラネタリウムで再現した。

【実績】

実施日	内容	参加者数
7/29(火)	山崎直子宇宙飛行士特別講演会「変わりゆく宇宙」	160名

(ケ) 大学生による科学教室

大学生の科学教育研究を支援するとともに、子どもたちの科学への興味・関心を高めるため、学生が小中学生を指導する科学教室を実施した。

【実績】

実施日	内容	施設・団体等	参加者数
2/7(土)	「ホバークラフトのひみつ！」	東海大学	17名
2/14(土)	「浮く？沈む？ガリレオ温度計をつくろう」	北海道情報大学	19名
2/28(土)	「体験しよう！レーザー加工機を使ったデジタルものづくり」	札幌市立大学	18名

イ 出前イベント

(ア) 移動天文台

学校や町内会、青少年育成委員会などからの要請により、職員、天文指導員を派遣し、移動天文車による天体観望や星空解説を行う観望会を実施した。

【実績】 天体観望実施17件 悪天候対応(星の解説)11件 2,355名
中止8件

(イ) 移動プラネタリウム

青少年科学館に来館できない市内の小学校を対象に、移動式プラネタリウムを用いた投影を実施した。

【実績】 13校 36回 938名

ウ その他科学普及に関する事業

(ア) 科学クラブ(Sci キッズ(さいきっず)友の会)運営

小中学生を対象に会員を募り(R7年度の登録会員数44名)、会員限定イベントの実施や各種講座の情報提供を行い、科学への興味・関心を高められるような事業を行った。

【実績】

実施日	内容	参加者数
5/17(土)	「令和7年度 Sci キッズ友の会開校式」	21名
7/19(土)	「夏の特別展バックヤードツアー」	19名
9/21(日)	「北大ラボ！さわって学ぼう・はくせいとほね」	20組41名
11/22(土)	「宇宙プレミアム！」	11名
12/20(土)	「冬の特別展バックヤードツアー」	12名
2/8(日)	「キラキラ 雪と氷のひみつ」	9名
3/28(土)	「あられ祭り」	11名

(イ) 職場体験などの受け入れ

児童・生徒の教育支援、地域との連携及び市民への科学知識の普及啓発に貢献するため、職場体験等を実施した。

【実績】

実施日	学校等	参加者数
7/8(火)	星槎もみじ中学校	2名
10/10(金)	札幌市立ひばりが丘小学校	8名
10/30(木)	札幌市立栄中学校	4名
11/5(水)	札幌市立幌東中学校	4名
11/13(木)	札幌市立日章中学校	3名
11/14(金)	札幌市立北白石中学校	3名

(ウ) 実験実習セット貸し出し及び制作

小中学校等での効果的な授業づくり等に役立つ実験・実習セットの貸し出しを行った。

【実績】 24団体 35セット

(エ) 教員研修

教員を対象に、小学校理科における観察や実験の基礎、指導の実態及び工夫について学ぶ研修を行った。また、展示物を活用した授業展開についての研修を実施した。

【実績】

実施日	内容	回数	参加者数
7/30(水)、8/7(木)、 8/19(火)、1/7(水)	札幌市教育センター専門研修 「学習指導～理科実験～」	4回	72名
8/4(月)	札幌市教育センター専門研修「理科教育に役立つ施設活用 ①体験編、②授業づくり編」	1回	40名

(オ) 博物館実習等の受け入れ

学芸員等の資格取得を目指す大学生等を受け入れ、指導を行った。

【実績】

実施期間	内容	学校等	参加者数
5/16(金)	見学	北海道大学	51名
9/3(水)~7(日)、 9/10(水)~14(日)	博物館実習	日本大学・酪農大学・札幌市立大学	3名
10/24(金)	博物館実習 事前事後指導	北海道大学	3名

エ 共催事業・協力事業

(ア) 「宇宙の日 作文・絵画コンテスト」(主催:JAXA、公益財団法人日本宇宙少年団)

「宇宙の日(9月12日)」を記念して、小中学生から「宇宙に関する作文・絵画コンテスト」の作品の募集を行い、作品展と表彰式を行った。

【実績】 応募作品数 作文6点 絵画77点

作品展 1/5(月)~1/12(月・祝)

表彰式 1/12(月・祝)

(イ) 夏休み天体観望会(共催:公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会)

定山溪自然の村で、ペルセウス座流星群を観望した。

【実績】 8/12(火) 約120名

(ウ) さっぽろ星まつり(共催:さとらんど fan コンソーシアム)

さとらんどを会場に、市民の天文への関心を高めるため、宇宙に関するゲームや工作、天体観望会等を実施した。

【実績】 9/27(土) 約2,700名

(エ) 他団体との連携

他の団体とも連携し、それぞれの専門性を生かしたさまざまな科学教室・イベント等を開催した。

a 科学分野

【実績】

No.	実施日	内容	団体名	参加者数
1	4/26(土)～ 5/6(火・休)	海上保安官と一緒に”海”を学ぼう!!	海上保安庁第一管区海上保安本部	17,519名
2	8/8(金)、 9(土)	献血セミナー「血液についてみんなで学ぼう」	北海道赤十字血液センター	254名
3	8/17(日)	宇宙天気予報ってなあに？	NPO 法人 気象キャスターネットワーク	14組28名
4	9/13(土)、 14(日)	新さっぽろコスプレフェスタ3	札幌学院大学	270名
5	10/5(日)	ジオ・フェスティバル	ジオ・フェスティバル実行委員会	1,040名
6	11/27(木)、 28(金)	全国理工系学芸員展示研究大会	全国理工系学芸員会議	21名
7	12/6(土)、 7(日)	北海道青少年科学技術振興作品展	北海道発明工夫教育連盟	772名
8	12/19(金)	札幌国際芸術祭メディア向け開催 PR イベント (記者会見)	札幌国際芸術祭実行委員会	—
9	1/10(土)、 11(日)	献血セミナー「血液についてみんなで学ぼう」	北海道赤十字血液センター	約200名
10	1/24(土)、 25(日)	第11回 CISE サイエンス・フェスティバル	一般社団法人ちせ	851名
11	3/29(土)	アマチュア無線ファミリー講座	一般社団法人日本アマチュア無線連名	28名
12	3/25(水)～ 31(火)	木のおもちゃであそぼう ～札幌市立大学地域プロジェクト～	札幌市立大	8,722名

b 天文分野

【実績】

No.	実施日	内容	団体名	参加者数
1	7/21(月・祝)	星つなぎのエリオ公開記念 親子万華鏡づくり教室 & プラネタリウム鑑賞会	株式会社北海道新聞社	10組20名
2	8/31(日)	夏のキラキラ星空ウォッチング	札幌市北区地域振興課	65名

(2) ボランティアなどの育成・活用事業

ア 展示ボランティア(フロアサポーター)の養成

科学について学びたい市民に自己啓発と活動の場を提供した。展示解説に役立つコミュニケーション研修や、科学館事業への理解を深めるため研修会を実施した。

【実績】 登録者数22名

定例研修5回

イ 天文ボランティア養成講座

天文に興味を持っている市民を対象として、望遠鏡の組み立て方や移動天文台での解説方法、接遇など、全6回からなる講座を実施し、天文普及の一翼を担う人材の養成を図った。

【実績】

実施日	内容	受講者
5/17(土)	第1回 講座の目的と概要説明、活動内容説明	25名
5/24(土)	第2回 望遠鏡の原理と使い方	
5/31(土)	第3回 現役天文指導員の体験談、天体の見つけ方	
6/7(土)	第4回 天文普及での効果的な話し方、1分間スピーチ	
6/14(土)	第5回 天体導入の方法、天文知識の勉強方法	
6/21(土)	第6回 普及活動で気を付けることに関するグループ検討、閉講式	

ウ 天文指導員の養成

天文教育の普及を担う人材の養成に向けて、定例研修や天文事業への参加機会を提供した。

【実績】 登録者数47名(今年度の新規登録者数11名)

定例研修9回

(3) 科学に関する情報の収集・提供

ア 科学資料の収集

(ア) 科学技術に関する資料の収集

実演や展示物の解説、展示物の更新・改良の基礎資料とするため、市販の出版物や他施設における発行物などを収集した。

(イ) 天文資料の収集

天文に関する解説資料や出版物に加えて、職員が自ら撮影した天体写真などの資料を収集した。

【実績】 7月 「太陽(プロミネンス)」

9月 「皆既月食」、「オーロラ」

10月 「レモン彗星」

11月 「低緯度オーロラ」

3月 「皆既月食」